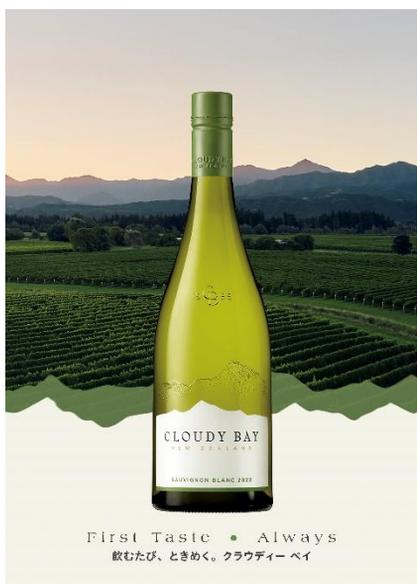


MHD モエ ヘネシー ディアジオ社より、ニュージーランドワイン

## 『クラウドディー ベイ ソーヴィニヨン ブラン 2022』が ボトルデザインをリニューアルし、2022年11月より順次発売開始



MHD モエ ヘネシー ディアジオ株式会社（東京都千代田区神田神保町）は、取り扱いのニュージーランド ワイン「クラウドディー ベイ ソーヴィニヨン ブラン」の2022年ヴィンテージよりボトルデザインをリニューアルし、2022年11月より順次、日本国内での販売を開始いたします。

クラウドディー ベイは、素晴らしい凝縮感とピュアな果実味を持つソーヴィニヨン ブランで高い認知度を持つ マールボロに最も早く根付いたワイナリーの1つです。

2022年のヴィンテージは、恵まれた生育期を経て、その後困難な収穫期を迎えました。降りしきる雨と多湿の中にもかかわらず、クラウドディー ベイのブドウ畑は完璧な果実を实らせました。そのようなワイン造りにおける不利な天候条件にも打ち勝った類まれなワインです。栽培チームは、ブドウを摘み採るその瞬間まで大切に見守り続けました。

テクニカルディレクターであるジム・ホワイトにとって、このヴィンテージが完成するまでの道のりはまさに苦難の連続であったと、以下のように振り返っています。

「今回のような困難な年にこそ、私たちのブドウ畑の強さを思い知らされました。悪条件な天候にもかかわらず、完璧な果実が実ったことは実に驚くべきことです。クラシックでパンチの効いたアロマの奥に、熟した柑橘類とほのかなストーンフルーツとの本当に素晴らしいバランスがあります。数年後にまた味わうために、2、3本とっておくことを強くお勧めします。」と、心境を語っています。

また、2022年ヴィンテージより、ボトルデザインがリニューアルされます。新しいボトルはブランドの伝統を継承すると同時に、クラウドディー ベイのストーリーに新たなページを刻むものであり、ミニマルで知られるラベルは、リッチモンド山脈のシルエットを型抜きしたキャンバス地の紙を使用し、より洗練されたデザインに仕上がっています。さらに、このモチーフをガラスにエンボス加工することで、繊細でユニークな手触りを実現しています。

Cloudy Bay Sauvignon Blanc 2022  
ソーヴィニヨンブラン 2022

**First Taste Always**  
飲むたび、ときめく。クラウディーベイ



初めてクラウディーベイが登場した時、その素晴らしい凝縮感とピュアな果実味に世界中が恋に落ちました。初めての感動が飲むたびに蘇る、特別なワインです。

容量：750 ml  
アルコール度数：13.3%  
希望小売価格：4,050円（税抜）／4,455円（税込）

**テイスティングノート**

**香り**：ジューシーな柑橘類とマクルートライムに、繊細なホワイトネクタリンとパッションフルーツが加わり、ピリッとした力強い香りが特徴的です。

**味わい**：口に含むと、熟したパッションフルーツと柑橘類が広がります。ピーチやグアバのトロピカルなニュアンスと融合し、石のような塩っぽさによって全体の味わいにバランスが保たれています。

<クラウディーベイ 新しいパッケージ/新しいボトルデザインの特徴>

- 1 新しくアップグレードされたラグジュアリーなクロージャー。100%リサイクル可能です。
- 2 新鮮で象徴的なソーヴィニヨンブランのフレーバーを表すソーヴィニヨンブラン用のフレンチグリーン色のガラスを使用。ガラスはすべてニュージーランド製で、リサイクル率は60%を超えています。
- 3 ガラスの首にエンボス加工されたモノグラムは、1985年の創業日であり37年前にニュージーランドをワインマップに載せたクラウディーベイを記念しています。
- 4 新しいエレガントでプレミアムなボトル形状は、以前のテココボトルの形状に影響を受けています。
- 5 リッチモンド山脈のエンボス加工は、ワイナリーから見える山の独特の形を示すことによって、クラウディーベイが生まれた場所を伝えています。
- 6 これまでのブランドコード、また新しいクラウディーベイのシグネチャーカラーであるグリーンカラーを採用しています。
- 7 ラベルは、シンプルさを大切にしています。ワードマークは、今日と同じように、消費者が確実に認識できるようにするための重要な要素です。ラベルの上部にあるダイカットにより、象徴的なリッチモンドレンジが完成しました。ラベルは、高級感を高めるため、手触りの良い麻布のような素材を採用しています。
- 8 ボトルの底の特徴的な形状、その外観に一層のプレミアム感を与えます。



## テクニカルディレクター ジム・ホワイト

1998年、ビクトリアのストラスボギー山脈にあるマウントヘレンワイナリーでアシスタントヴィンヤードマネージャーとしてワインメーカーのキャリアをスタートさせる。オークリッジワイナリー、ドメーヌシャンドンでワインメイキングに従事した後、2007年にケープメンテルに栽培責任者として参画。サステナブルなブドウ栽培を行うことに注力し、並外れた品質のブドウの生産を行うことに成功した。

2011年、ニュージーランドへと渡り、クラウドディーベイの栽培責任者として従事する。2018年、テクニカルディレクターへとキャリアを進め、現在、クラウドディーベイの栽培と醸造の両方を陣頭指揮。ジムのミッションは、最高品質のブドウから最良のマールポロワインを届けることにある。栽培チームと共に、経験からなる専門知識、細部へのこだわりを持って、日夜ミッションを実現させるべく取り組んでいる。



### ■クラウドディーベイについて

クラウドディーベイは1985年に設立されました。創業者のデヴィッド・ホーネンは、マールポロのソーヴィニヨンブランを一口飲んだだけで、ニュージーランドのワイン産地としての可能性を見出したのです。クラウドディーベイはマールポロで最初に設立された5つのワイナリーのうちの1つとなり、現在では世界で最も認知されたニュージーランドのワイナリーとなっています。初ヴィンテージから、クラウドディーベイのワインは、その驚くべき品質と一貫性により、国際的に高い評価を受けています。

HP: [https://www.mhdkk.com/brands/cloudy\\_bay/special/](https://www.mhdkk.com/brands/cloudy_bay/special/)



モエヘネシーの環境配慮「Living Soils, Living Together 生きた土壌、共に生きる」に関してはこちら  
[https://www.mhdkk.com/company/csr/sustainable\\_development/living\\_soils/](https://www.mhdkk.com/company/csr/sustainable_development/living_soils/)  
MHDモエヘネシーディアジオのSustainability/CSRに関してはこちら  
<https://www.mhdkk.com/company/csr/>

### 報道関係の方のお問い合わせ先：

クラウドディーベイPR事務局 (株)サニーサイドアップ.) 担当: 矢野(080-7934-3745)、小俣  
Mail: [estateswine@ssu.co.jp](mailto:estateswine@ssu.co.jp) TEL: 03-6894-3200 FAX: 03-5413-3050

### 商品についてのお問い合わせ先：

MHDモエヘネシーディアジオ株式会社モエヘネシーマーケティング部 TEL: 03-5217-9731